

ノコギリクワガタ

一般的によく見られるクワガタの一種です。

オスは32mm～74mm、メスは25mm～38mmほどの大きさです。

オスの大あごは、大きく曲がり4～5本の内歯（内側のトゲ）があります。小さな個体ほど、大あごの曲がりは弱く、内歯ものこぎり状になります。

主に平地から山地の落葉樹林に生息しています。

成虫を見られるのは6月～9月ころまでで、夜にクヌギやコナラ、ヤナギなどの落葉樹の樹液に集まります。昼間は、木の高いところなどで休んでいます。

メスは交尾後、落葉樹などの朽木などの周辺に産卵します。孵化（ふか）した幼虫は、その朽木の材を食べて成長し、1年～3年かけて成虫になります。成虫はその年で死んでしまいます。

富士市での現状

低山地～山地のほぼ全域で、確認されました。469号線より標高が高いところでは、ほとんど見られないようです。



ノコギリクワガタを確認したメッシュ

